

平成28年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

中学1年 平成28年度重点目標					
項目1	①「学力向上に向けて」				
	<table border="1"> <tr> <td>目 標</td> <td>(1) グローバル人材育成のための土台として、基礎学力の向上、学習意欲の喚起などを行っていく。 (2) 生徒が自ら学ぶ姿勢、自分の意見を表現する姿勢を持てるような授業作りに取り組む。 (3) 実践的英語力を育成するための土台を構築する。</td> </tr> <tr> <td>達成方法</td> <td>(1) わかばやmanabaを活用することにより、学習のスケジュール管理を行っていく。ガイダンスや授業を通して学習法について積極的にアドバイスを 行う。各種小テストや補習などの取り組みを徹底的に行う。すららを活用することで全員が基礎事項を定着できる状態にする。 (2) タブレットを活用した授業展開により、授業内でのアクティブラーニングを積極的に取り入れ、思考・協働学習・意見発表の機会を積極的に用意 する。そのことにより学習内容に対する興味を持たせ、自ら学習する気持ちを持たせる。 (3) 全体の学習の中でも、進路実現及びグローバル化対応に必須である英語に重点を置き、教科だけでなく学年の取り組みとして英語力向上のた めの機会を用意していく。</td> </tr> </table>	目 標	(1) グローバル人材育成のための土台として、基礎学力の向上、学習意欲の喚起などを行っていく。 (2) 生徒が自ら学ぶ姿勢、自分の意見を表現する姿勢を持てるような授業作りに取り組む。 (3) 実践的英語力を育成するための土台を構築する。	達成方法	(1) わかばやmanabaを活用することにより、学習のスケジュール管理を行っていく。ガイダンスや授業を通して学習法について積極的にアドバイスを 行う。各種小テストや補習などの取り組みを徹底的に行う。すららを活用することで全員が基礎事項を定着できる状態にする。 (2) タブレットを活用した授業展開により、授業内でのアクティブラーニングを積極的に取り入れ、思考・協働学習・意見発表の機会を積極的に用意 する。そのことにより学習内容に対する興味を持たせ、自ら学習する気持ちを持たせる。 (3) 全体の学習の中でも、進路実現及びグローバル化対応に必須である英語に重点を置き、教科だけでなく学年の取り組みとして英語力向上のた めの機会を用意していく。
	目 標	(1) グローバル人材育成のための土台として、基礎学力の向上、学習意欲の喚起などを行っていく。 (2) 生徒が自ら学ぶ姿勢、自分の意見を表現する姿勢を持てるような授業作りに取り組む。 (3) 実践的英語力を育成するための土台を構築する。			
達成方法	(1) わかばやmanabaを活用することにより、学習のスケジュール管理を行っていく。ガイダンスや授業を通して学習法について積極的にアドバイスを 行う。各種小テストや補習などの取り組みを徹底的に行う。すららを活用することで全員が基礎事項を定着できる状態にする。 (2) タブレットを活用した授業展開により、授業内でのアクティブラーニングを積極的に取り入れ、思考・協働学習・意見発表の機会を積極的に用意 する。そのことにより学習内容に対する興味を持たせ、自ら学習する気持ちを持たせる。 (3) 全体の学習の中でも、進路実現及びグローバル化対応に必須である英語に重点を置き、教科だけでなく学年の取り組みとして英語力向上のた めの機会を用意していく。				
項目2	②「生きる力育成に向けて」				
項目2	<table border="1"> <tr> <td>目 標</td> <td>(1) 「7つのルール」の徹底を通して、社会人として生活するための基本的な作法を身につける。 (2) 道徳教育、ピアサポート教育を通して自分および学校の一員としての誇りを持たせる。 (3) 基本的な生活習慣に関して徹底させる。</td> </tr> <tr> <td>達成方法</td> <td>(1) 事あるごとに「7つのルール」を確認し、その上で時期ごとの生活達成目標を設定する。丁寧な対面指導を心がけ、自らルールを守れるような環 境作りに努める。 (2) 道徳とピアサポートに関して、カリキュラムに則り全クラスで共通の指導ができるように心がけ、豊かな心を養うよう努める。活動したものに關し ては必ず振り返りを行うことで自分の経験として蓄積させていく。 (3) 「あいさつ」「遅刻防止」「校内美化」に関しては学年全体で徹底的に指導していく。</td> </tr> </table>	目 標	(1) 「7つのルール」の徹底を通して、社会人として生活するための基本的な作法を身につける。 (2) 道徳教育、ピアサポート教育を通して自分および学校の一員としての誇りを持たせる。 (3) 基本的な生活習慣に関して徹底させる。	達成方法	(1) 事あるごとに「7つのルール」を確認し、その上で時期ごとの生活達成目標を設定する。丁寧な対面指導を心がけ、自らルールを守れるような環 境作りに努める。 (2) 道徳とピアサポートに関して、カリキュラムに則り全クラスで共通の指導ができるように心がけ、豊かな心を養うよう努める。活動したものに關し ては必ず振り返りを行うことで自分の経験として蓄積させていく。 (3) 「あいさつ」「遅刻防止」「校内美化」に関しては学年全体で徹底的に指導していく。
	目 標	(1) 「7つのルール」の徹底を通して、社会人として生活するための基本的な作法を身につける。 (2) 道徳教育、ピアサポート教育を通して自分および学校の一員としての誇りを持たせる。 (3) 基本的な生活習慣に関して徹底させる。			
	達成方法	(1) 事あるごとに「7つのルール」を確認し、その上で時期ごとの生活達成目標を設定する。丁寧な対面指導を心がけ、自らルールを守れるような環 境作りに努める。 (2) 道徳とピアサポートに関して、カリキュラムに則り全クラスで共通の指導ができるように心がけ、豊かな心を養うよう努める。活動したものに關し ては必ず振り返りを行うことで自分の経験として蓄積させていく。 (3) 「あいさつ」「遅刻防止」「校内美化」に関しては学年全体で徹底的に指導していく。			
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」				
項目3	<table border="1"> <tr> <td>目 標</td> <td>(1) 「開かれた学校」を目指すため、積極的な情報発信を行っていく。 (2) 2020年問題に対応すべく、教育環境の革新を行っていく。</td> </tr> <tr> <td>達成方法</td> <td>(1) 学年通信・学級通信・学年進路部通信などの発行を通して、学年やクラスの活動に関して積極的な情報発信を行っていく。 (2) タブレットを入学時点から導入する学年として、新しい教育スタイルに挑戦し続けていき、2020年の入試改革に対応できるようにする。</td> </tr> </table>	目 標	(1) 「開かれた学校」を目指すため、積極的な情報発信を行っていく。 (2) 2020年問題に対応すべく、教育環境の革新を行っていく。	達成方法	(1) 学年通信・学級通信・学年進路部通信などの発行を通して、学年やクラスの活動に関して積極的な情報発信を行っていく。 (2) タブレットを入学時点から導入する学年として、新しい教育スタイルに挑戦し続けていき、2020年の入試改革に対応できるようにする。
	目 標	(1) 「開かれた学校」を目指すため、積極的な情報発信を行っていく。 (2) 2020年問題に対応すべく、教育環境の革新を行っていく。			
	達成方法	(1) 学年通信・学級通信・学年進路部通信などの発行を通して、学年やクラスの活動に関して積極的な情報発信を行っていく。 (2) タブレットを入学時点から導入する学年として、新しい教育スタイルに挑戦し続けていき、2020年の入試改革に対応できるようにする。			
項目1	①「学力向上に向けて」				
項目1	<table border="1"> <tr> <td>目 標</td> <td>将来の夢や希望について考えるように促し、その実現をはかるために学習意欲を高め、学力の向上を目指す。</td> </tr> <tr> <td>達成方法</td> <td>環境学習旅行や街歩きなどを通して、自然や働く人たちとの接触など色々な経験をすることにより、豊かな人間性を高めると共に、将来の進路につ いて考える機会を設ける。 自分の夢や希望を実現するために、また、大学入試改革に備えて、具体的な学力の到達目標を生徒に定めさせ、学力向上の意欲を高める、 中学一年時に実施した妻中義塾やSHR小テストなどを継続すると共に、授業に対する集中力とすららを利用した自宅学習を習慣化し、定着させ る。</td> </tr> </table>	目 標	将来の夢や希望について考えるように促し、その実現をはかるために学習意欲を高め、学力の向上を目指す。	達成方法	環境学習旅行や街歩きなどを通して、自然や働く人たちとの接触など色々な経験をすることにより、豊かな人間性を高めると共に、将来の進路につ いて考える機会を設ける。 自分の夢や希望を実現するために、また、大学入試改革に備えて、具体的な学力の到達目標を生徒に定めさせ、学力向上の意欲を高める、 中学一年時に実施した妻中義塾やSHR小テストなどを継続すると共に、授業に対する集中力とすららを利用した自宅学習を習慣化し、定着させ る。
	目 標	将来の夢や希望について考えるように促し、その実現をはかるために学習意欲を高め、学力の向上を目指す。			
	達成方法	環境学習旅行や街歩きなどを通して、自然や働く人たちとの接触など色々な経験をすることにより、豊かな人間性を高めると共に、将来の進路につ いて考える機会を設ける。 自分の夢や希望を実現するために、また、大学入試改革に備えて、具体的な学力の到達目標を生徒に定めさせ、学力向上の意欲を高める、 中学一年時に実施した妻中義塾やSHR小テストなどを継続すると共に、授業に対する集中力とすららを利用した自宅学習を習慣化し、定着させ る。			
項目2	②「生きる力育成に向けて」				
項目2	<table border="1"> <tr> <td>目 標</td> <td>中学生らしく元気に自主性を持った行動を身につけさせる。 他者への思いやりのある生徒に育てる。 社会の責任ある一員として、「7つのルール」を基盤とした決まりや社会マナーを守る規範意識を定着させる。</td> </tr> <tr> <td>達成方法</td> <td>生徒の自主的行動を尊重すると共に、ピアカウンセリングなど、大妻中野で学ぶ仲間として協調性、連帯感を持ち、思いやりの心を持って他者に接 することが出来るような寛容な精神をそだてるべく、あらゆる機会をとらえ、繰り返し教育をしていく。 多面的な人間性を養うために、部活動や学校行事への積極的な参加を促す。 学校などの集団や社会がひとりひとりの自制心やルールの遵守を前提として成り立っていることを理解させる。 校内においては挨拶の励行、校則の遵守、また通学時など校外においては法の遵守はもちろん、交通道徳を守るなど、社会の一員として基本的行 動を習慣化するよう指導を徹底する。</td> </tr> </table>	目 標	中学生らしく元気に自主性を持った行動を身につけさせる。 他者への思いやりのある生徒に育てる。 社会の責任ある一員として、「7つのルール」を基盤とした決まりや社会マナーを守る規範意識を定着させる。	達成方法	生徒の自主的行動を尊重すると共に、ピアカウンセリングなど、大妻中野で学ぶ仲間として協調性、連帯感を持ち、思いやりの心を持って他者に接 することが出来るような寛容な精神をそだてるべく、あらゆる機会をとらえ、繰り返し教育をしていく。 多面的な人間性を養うために、部活動や学校行事への積極的な参加を促す。 学校などの集団や社会がひとりひとりの自制心やルールの遵守を前提として成り立っていることを理解させる。 校内においては挨拶の励行、校則の遵守、また通学時など校外においては法の遵守はもちろん、交通道徳を守るなど、社会の一員として基本的行 動を習慣化するよう指導を徹底する。
	目 標	中学生らしく元気に自主性を持った行動を身につけさせる。 他者への思いやりのある生徒に育てる。 社会の責任ある一員として、「7つのルール」を基盤とした決まりや社会マナーを守る規範意識を定着させる。			
	達成方法	生徒の自主的行動を尊重すると共に、ピアカウンセリングなど、大妻中野で学ぶ仲間として協調性、連帯感を持ち、思いやりの心を持って他者に接 することが出来るような寛容な精神をそだてるべく、あらゆる機会をとらえ、繰り返し教育をしていく。 多面的な人間性を養うために、部活動や学校行事への積極的な参加を促す。 学校などの集団や社会がひとりひとりの自制心やルールの遵守を前提として成り立っていることを理解させる。 校内においては挨拶の励行、校則の遵守、また通学時など校外においては法の遵守はもちろん、交通道徳を守るなど、社会の一員として基本的行 動を習慣化するよう指導を徹底する。			
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」				
項目3	<table border="1"> <tr> <td>目 標</td> <td>「開かれた学校」を目指し、保護者会への情報公開を進めてよりよい相互理解、連携を深める。</td> </tr> <tr> <td>達成方法</td> <td>タブレットやHPを利用し、学級通信、学年通信、進路通信などを送信し、学年の動きに対しての理解度を高めるようにする。 保護者会を通じ、大学受験の変化状況や学校での取り組みなどを発信し、相互理解と連携を深める。 街歩きを通して、生徒と地域社会との相互理解を深める。</td> </tr> </table>	目 標	「開かれた学校」を目指し、保護者会への情報公開を進めてよりよい相互理解、連携を深める。	達成方法	タブレットやHPを利用し、学級通信、学年通信、進路通信などを送信し、学年の動きに対しての理解度を高めるようにする。 保護者会を通じ、大学受験の変化状況や学校での取り組みなどを発信し、相互理解と連携を深める。 街歩きを通して、生徒と地域社会との相互理解を深める。
	目 標	「開かれた学校」を目指し、保護者会への情報公開を進めてよりよい相互理解、連携を深める。			
	達成方法	タブレットやHPを利用し、学級通信、学年通信、進路通信などを送信し、学年の動きに対しての理解度を高めるようにする。 保護者会を通じ、大学受験の変化状況や学校での取り組みなどを発信し、相互理解と連携を深める。 街歩きを通して、生徒と地域社会との相互理解を深める。			

平成28年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

中学3年 平成28年度重点目標	
項目1	①「学力向上に向けて」
	目 標
	達成方法
	達成方法
項目2	②「生きる力育成に向けて」
	目 標
	達成方法
	達成方法
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」
	目 標
	達成方法
高校1年 平成28年度重点目標	
項目1	①「学力向上に向けて」
	目 標
	達成方法
	達成方法
	達成方法
	達成方法
項目2	①「学力向上に向けて」
	目 標
	達成方法
	達成方法
	達成方法
	達成方法
項目3	①「学力向上に向けて」
	目 標
	達成方法
	達成方法
	達成方法
	達成方法

平成28年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

項目4	②「生きる力育成に向けて」	
	目 標	7つのルールの徹底により、他者を思いやる心を育成し、「人のために生きる」価値と喜びを感じられるようにする。
		クラス種別を問わず、英語力、プレゼンテーション能力を向上させる。
		「与えられる人」から「自ら考えて行動する人」になれるように意識を向上させる。
達 成 方 法	委員会活動や係活動にやりがいを持たせる。	
	マナー、モラルを重視し、中学時と同様に指導する。マナーやモラルは、人の生き方・生き様に直結してくることをLHR等で理解させる。	
	授業内で発表の機会を計画的に設ける。	
	今、何をすべきなのかを常に考えさせる機会をもつ。	
項目5	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」	
	目 標	タブレットを有効活用し、多様な教育方法を提供する。
	達 成 方 法	manaba、ロイロノートを授業以外でも有効活用し、稼働率を高める。
高校2年 平成28年度重点目標		
項目1	①「学力向上に向けて」	
	目 標	生徒一人一人の偏差値を2年終了後までに+5を目標とする。
		放課後延長学習を充実させる。
		目標別ガイダンスを適宜実施する。
		生徒自ら積極的に学習に取り組む、学習習慣・学習スタイルを確立させる。
	達 成 方 法	・模試分析結果を学年で共有し、生徒個々の弱点を把握し、次の模試に備えさせる。
・集中して学習する習慣を確立させるための自学自習環境を提供する。		
・国公立、早・慶・上・理、GMARCH、AO対策などの目的別ガイダンスを実施する。		
・能率手帳「スコラ」の活用をガイダンスし、学習時間や日常生活を自ら振り返ることが出来るように指導する。		
・「進路カルテ」を作成し、各個人が模試ごとに目標を設定し、目標達成のための具体的計画を考えさせる。		
項目2	②「生きる力育成に向けて」	
	目 標	メリハリのある生活習慣の確立(自己管理能力の育成)させる。
		集団における自己責任能力の育成を目指す。
		グローバル化を想定した将来設計像の構築を促す。
	達 成 方 法	・生活指導の基本である「7つのルール」を再度確認し、徹底する。
		・「常に前向きな思考を持つこと」が、2年後の進路決定や日常生活にプラスの影響を与え、
「悲観的な発言をすること」はマイナスの影響を与えることを再度理解させる。		
・学年全体で学力が向上するための方法を、場面ごとに具体的に生徒に示す。		
・国際社会で通用する人材の育成のため、積極的にキャリア実現のための講習会の参加や留学などを薦める。		
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」	
	目 標	・保護者対象のガイダンスの充実をはかる。
		・学年の活動や進路指導に関する保護者の理解と協力をいただけるように情報を提供していく。
	達 成 方 法	・年3回の保護者ガイダンスを通して、本校の進路指導方針、及び現在の大学入試のあり方について具体的に提示する。
・進路ニュースの充実を図る。		
・学校ホームページに学年通信・進路ニュースを随時更新していく。		

平成28年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

高校3年 平成28年度重点目標	
項目1	①「学力向上に向けて」
	目 標
	達成方法
	達成方法
項目2	②「生きる力育成に向けて」
	目 標
	達成方法
	達成方法
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」
	目 標
	達成方法
	達成方法